



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年11月9日

上場会社名 株式会社ジェーシー・コムサ 上場取引所 大
 コード番号 2876 URL <http://www.jc-comsa.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）和田 隆介
 問合せ先責任者（役職名）専務取締役CFO（氏名）今井 福三 (TEL) 03(5722)7261
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	7,650	△7.6	285	△16.3	252	△16.8	80	—
23年3月期第2四半期	8,278	0.8	341	△29.9	303	△30.4	△217	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 72百万円 (—%) 23年3月期第2四半期△229百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.98	—
23年3月期第2四半期	△27.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	8,328	2,625	31.0
23年3月期	8,347	2,529	30.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,583百万円 23年3月期 2,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	16,000	△3.3	600	△3.7	500	△10.5	250	74.4	31.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	8,477,890株	23年3月期	8,477,890株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	267,825株	23年3月期	521,375株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	8,107,242株	23年3月期2Q	7,957,042株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書.....	6
四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の低迷や厳しい雇用情勢による所得の減少もあいまって依然として厳しい状況が続いております。東日本大震災の影響による自粛ムードは和らいだものの、欧州経済危機等、景気の先行きの不透明な環境は依然として継続している状況であります。

食料品・外食業界におきましても、個人所得の低迷を背景とした消費者の生活防衛意識からくる節約志向や低価格競争の激化に加え、原子力発電所事故の発生を機に「食の安全・安心」に対する消費者の不安心理が高まり、外食を控える傾向が続いている厳しい経営環境となりました。

このような経営環境の中で、当社グループは経営理念としている「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,650百万円（前年同四半期比7.6%減）、営業利益は285百万円（同16.3%減）、経常利益は252百万円（同16.8%減）、四半期純利益は80百万円（前年同四半期は四半期純損失217百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①食料品事業（ピザ関連事業）

食料品事業（ピザ関連事業）におきましては、主要原料のチーズ及び小麦粉の価格変動は、依然として予断を許さない状況が続いており、また、競争の激化に伴う厳しい事業環境に変化はありません。このような中で、引き続き自社製品の生産から販売に至る全ての工程の見直しと効率化を実施してまいりました。

市販用新製品として「家飲みピザ ガーリック&チョリソー」「家飲みピザ うま塩サラミ」の2品のほか、ホットでスパイシーな「ナンタコス」、お子様のおやつに合う「おやつピザ」と、常にマーケットを意識した商品づくりを展開しました。

業務用製品では引き続き重点自社製商品『JCIレブレン』の販売強化、『小麦ごはん』という新感覚の提案型商品戦略の強化、新規取引先の開拓および新規ユーザーへの新規販売チャンネルへの取り組み、マーケティング分析による新商品の開発等を実施することで、収益の確保、増大を図ってまいりました。なお、東日本大震災の影響につきましては、震災地域での売上は一時的に影響があったものの、その後徐々に回復の傾向がみられております。

また、生産部門におきましては原材料調達コストの改善、変動労務費の削減、製品の歩留まり改善、品質管理の強化を通じて生産性の向上を図ってまいりました。

その結果、売上高は4,820百万円（前年同四半期比2.5%減）、セグメント利益は488百万円（同16.0%減）となりました。

②外食事業

当外食業界におきましては、所得減少による節約志向の高まりから個人消費の低迷が続き、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

レストラン事業におきましては、8月に東京・東銀座に高級感ある大人の空間で、リーズナブルな串焼からハイクラスの炭火焼肉まで堪能して頂ける新コンセプトの串焼・炭火焼肉「Y a g u r a」をオープンしました。主力業態である「燦鶏」「一番どり」につきましては、労働生産性の改善等による徹底したコストコントロールを継続して行ってまいりました。

宅配事業におきましては、収益基盤の構築を経営テーマに掲げ、オペレーション力の強化に取り組みました。外食事業全体として震災後によるイベントの自粛や節電に伴う営業時間の見直し等が影響した結果、売上高は2,830百万円（前年同四半期比15.1%減）、セグメント利益は53百万円（前年同四半期はセグメント損失286百万円）となりました。

③海外事業

海外事業におきましては、売上高は0百万円、セグメント損失は41百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ19百万円減少し8,328百万円となりました。これは主に、売掛金が増加した一方で、現金及び預金が減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度より115百万円減少し5,702百万円となりました。これは主に、未払法人税等の残高が増加した一方で、買掛金の残高が減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ96百万円増加し2,625百万円となりました。これは主に、新会社を設立したことで少数株主持分が発生したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想については現時点では据え置き、見直しが必要と判断した場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

有形固定資産の減価償却方法および耐用年数の変更

第1四半期連結会計期間より、有形固定資産の減価償却の方法を、定率法から定額法に変更するとともに、一部の資産の耐用年数を使用実態にあわせて見直しています。

この変更は、食料品・外食業界をとりまく経済環境の変化を受け、当社グループの保有する設備の投資目的や使用実態を見直した結果、設備の使用期間にわたって費用を均等に計上する定額法の方がより合理的な償却方法であることから変更したものです。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ22,634千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,712,700	1,572,941
受取手形及び売掛金	1,754,087	1,885,875
商品及び製品	367,702	377,496
原材料及び貯蔵品	205,787	233,750
その他	193,799	228,994
貸倒引当金	△812	△4,277
流動資産合計	4,233,264	4,294,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,296,768	4,300,892
減価償却累計額	△2,850,720	△2,916,929
建物及び構築物(純額)	1,446,047	1,383,963
その他	3,132,149	3,137,397
減価償却累計額	△2,054,274	△2,111,651
その他(純額)	1,077,875	1,025,746
有形固定資産合計	2,523,922	2,409,709
無形固定資産	64,973	60,436
投資その他の資産		
敷金及び保証金	916,886	918,052
その他	641,204	670,436
貸倒引当金	△32,314	△24,788
投資その他の資産合計	1,525,776	1,563,700
固定資産合計	4,114,672	4,033,847
資産合計	8,347,937	8,328,628
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,240,663	1,064,870
短期借入金	984,100	1,019,100
未払法人税等	77,215	171,438
賞与引当金	131,884	98,903
資産除去債務	1,510	14,490
その他	577,136	548,392
流動負債合計	3,012,509	2,917,193
固定負債		
長期借入金	1,756,650	1,701,250
退職給付引当金	346,040	401,972
役員退職慰労引当金	101,882	97,158
資産除去債務	464,053	462,811
その他	137,510	122,477
固定負債合計	2,806,136	2,785,670
負債合計	5,818,646	5,702,864

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	823,810	823,810
資本剰余金	1,043,657	1,079,079
利益剰余金	679,813	697,098
自己株式	△7,144	△3,775
株主資本合計	2,540,137	2,596,213
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,339	△11,112
繰延ヘッジ損益	492	△1,250
為替換算調整勘定	—	△252
その他の包括利益累計額合計	△10,846	△12,616
少数株主持分	—	42,167
純資産合計	2,529,290	2,625,764
負債純資産合計	8,347,937	8,328,628

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	8,278,860	7,650,876
売上原価	4,621,311	4,364,426
売上総利益	3,657,549	3,286,450
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,412,518	1,312,683
賞与引当金繰入額	85,316	73,572
退職給付費用	24,684	28,193
役員退職慰労引当金繰入額	14,025	16,176
貸倒引当金繰入額	87	4,838
その他	1,779,510	1,565,249
販売費及び一般管理費合計	3,316,142	3,000,713
営業利益	341,407	285,736
営業外収益		
受取利息	401	217
受取配当金	—	765
受取賃貸料	3,465	3,601
受取手数料	3,013	668
貸倒引当金戻入額	—	300
その他	7,916	3,437
営業外収益合計	14,797	8,991
営業外費用		
支払利息	37,417	28,990
持分法による投資損失	2,295	1,870
その他	13,048	11,357
営業外費用合計	52,761	42,219
経常利益	303,442	252,508
特別利益		
前期損益修正益	4,872	—
投資有価証券売却益	9,254	—
賞与引当金戻入額	15,509	—
特別利益合計	29,636	—
特別損失		
持分変動損失	1,643	—
減損損失	—	9,364
固定資産除却損	4,980	55
店舗閉鎖損失	2,243	235
退職給付制度改定損	—	38,060
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	310,744	—
その他	1,210	—
特別損失合計	320,821	47,715
税金等調整前四半期純利益	12,257	204,792
法人税、住民税及び事業税	135,608	153,299
法人税等調整額	94,150	△22,611
法人税等合計	229,759	130,687
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△217,501	74,105
少数株主損失(△)	—	△6,832
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△217,501	80,937

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△217,501	74,105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,295	226
繰延ヘッジ損益	△1,346	△1,743
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△252
その他の包括利益合計	△11,641	△1,769
四半期包括利益	△229,143	72,335
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△229,143	79,167
少数株主に係る四半期包括利益	—	△6,832

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。